

第 21 回岩手県障がい者技能競技大会

ビルクリーニング競技課題

◎ 一般的な注意事項

1. 課題 1 のカーペット床清掃と、課題 2 の弾性床清掃及び机上清掃です。
2. 時間が定められています。
課題 1：7 分 打ち切り（2 分前に残り時間のアナウンスをする）
課題 2：10 分 打ち切り（3 分前に残り時間のアナウンスをする）
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の 5 面から審査します。
5. 作業に適した服装をしてください。
6. 作業開始の指示は審査員が行います。
7. 作業ごとに入退室を行う際には軽く挨拶や礼をしてください。
8. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。
9. 課題は残り時間をアナウンスし、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。

◎ 課題 1：カーペット床清掃

1. 作業面積は 16 m^2 ($4\text{ m} \times 4\text{ m}$) とし、幅木により区画します。
2. 繊維床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを 50ml 程度まいたものとします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎ 課題 2：弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は 16 m^2 ($4\text{ m} \times 4\text{ m}$) とし、幅木により区画します。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし 50ml 程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎ 実施内容及び実施手順

(1) 課題 1 繊維床清掃

作業準備 → 挨拶 → 真空掃除機による除塵作業 → 挨拶 → 終了

(2) 課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

作業準備 → 挨拶 → ゴミ処理 → 椅子・ゴミ箱を机の上に置く → ダストモップによる除塵 → 自在箒によるゴミ回収 → モップによる拭き作業 → 椅子・ゴミ箱を元の位置に置く → タオルによる机上拭き作業 → 挨拶 → 終了

◎ 使用機器等一覧表

(1) 競技場に準備されているもの

課題 1 カーペット床清掃

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2 型	1 台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラーグ (モップ房)	260 g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30 c m 幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 c m	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	・無地 水拭き用 (青色) 1 枚 ・から拭き用 (白色) 1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 c m 幅の不織布 TERAMOTO 再生 PET ダスター 品番 : CL-357-869-0	1 枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱	角型	1 個	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着 (上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

課題 1 カーペット床清掃時

間：7分作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ウォンド・吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。 作業標示板は既に所定の位置に立ててある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	声を出して申告する。
除塵作業 (真空掃除機)	① 真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、作業場所へ入る。 ② 室内での作業手順はカーペット床作業手順のとおり行う。 ③ ゴミ箱は、持ち上げて吸塵する。 ④ いすを手前に引き出し、机の下での吸塵を行い、元にもどす。 ⑤ 前進しながら吸塵作業をする。 ⑥ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 吸い込み口を床に強く押しつけない。 本体は手で持って移動する。 プラグを持って抜く。	ゴミはシュレッダーで裁断したものを50ml程度まいている。 掃除機のコードを持って抜かない。
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検を行い、あれば処置する。	声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		

終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。
------	---	------------

課題 2 弾性床清掃及び机上清掃：10 分

作業仕様 1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ①モップ柄の長さを調整しカートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスをヘッドに装着しカート上部に置く。 ①②は事前に準備する	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申しでる。 柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、審査員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い競技を開始する。	片手を挙げ一礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入口にて室内に向かって、入室の挨拶を行う。	「失礼します」等一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミ回収 (3) ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱内のゴミを袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口に置いてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上にあげる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (乾式モップ)	①ダスタークロスを着着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。 ②乾式モップを持ち、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 ③乾式モップ作業手順のとおり作業を行う。 ④前進しながら出口に向かってゴミを一か所に集める。 ⑤ヘッドを柄から外す。 ⑥使用済みのダスタークロスヘッドから外しカートの中の袋の中に収納する。 ⑦柄とヘッドをカートに戻す。 ⑧小ぼうきと文化ちりとりを持って集めたゴミを取る。 ⑨ゴミの取り残りがいないか点検	・柄の先端には親指を添える。 ・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させ、床に強く打ちつけないこと。 ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば、小ぼうきと文化ちりとりで取る。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして、カート	ゴミはおがくずを 50ml 程度均等に撒いている。 点検の際に声をださないこと。

	<p>する。</p> <p>⑩小ぼうきと文化ちりとりをカートに収める。</p>	<p>の上部へ邪魔にならないように置く。</p>	
--	---	--------------------------	--

作業仕様 1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭きをする (モップ)	<p>①コート全体面積を拭く。</p> <p>②水拭きモップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③コーナー周りとし、机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。 	
ゴミ箱とイスを下す	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	<p>①タオルを八折りにして持つ。</p> <p>②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。</p> <p>③机の上を水拭きした後、乾拭きを行う。水拭きと同様に作業を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ・縦拭き・横拭きを行う。 ・拭き残し、拭きむらのないようにする。 	
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。	元の位置に戻す。	
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました。」等の意思表示をする。	作業終了を申告する。